



プレーパーク レポート

第19号

2023年12月
小鹿野町



10月に農園で収穫した
サツマイモを焼いたよ！

植えて、穫って、食べて。暮らすことと遊ぶことが近かって楽しい！

5月に苗を植え、10月に収穫したサツマイモを焚火で焼いて食べました。

10月に掘った時から1か月、待ちに待った美味しい焼き芋を食べる日がやってきました。まずは焚火をつけて、そのあとはお芋の準備です。

タライに水を入れてお芋を洗い、新聞紙で巻いてからビショビショに濡らします。最後は軽く水気を切ってアルミホイルで包んだら完成、こうすることでしっとりと蒸し焼き状態で焼きあがるのです。

焼きあがるまでは焚火でマシュマロ焼きをしたり、落ち葉で遊んだり思い思いに過ごしました。

焼きあがったお芋の味は格別。かつて、暮らすことと遊ぶことは密接で作物を育てたり、火をおこすことは日常でした。

小鹿野のプレーパークは暮らすことと遊ぶことの距離が近いのも魅力の一つですね。



遊びの様子

毎年恒例の落ち葉遊びの11月。

今年は気候の影響で落葉が遅れているのか量は十分でしたが、小さめの葉っぱが多かったです。

飛び込んだり潜ったり、友達と落ち葉の掛け合いを楽しんだりと一日たっぷり遊びました。



事前の告知で「ゴーグル持ってくると目に落ち葉が入らずに便利」と呼びかけたところ、ゴーグル持参で遊びに来る人がたくさんいました。

本気で遊ぶのは子どもだけじゃありません。大人たちもいつの間にか服が落ち葉だらけで夢中で遊んでいました。

自然がくれた最高の遊びの素材です！

今年度は未就園児や幼児も遊びに来てくれることが増えました。オレンジシートの上でハイハイの子どもも遊べるようにパズルマットや少しのおもちゃを用意しています。

プレーパークは参加に年齢制限がありません。赤ちゃんから大人まで遊べるようになっています。

赤ちゃん連れで遊びに来たら、抱っこ紐から出して、ぜひ遊ばせてみてくださいね。



準備の時も落ち葉の入った大きな袋をみんなで力を合わせて運びました。

そして、クライマックスは片付けです。集めて入れてという行為もとても楽しく、ホウキやチリトリを手にして盛り上がる子どもたち。

極めつけは「袋に入る！」すっぽりハマってなかなかでできませんでした。